

私たちの民主主義も同じです。

あっても粘り強く話し合いを進めることが常識となっております。私を中心とした世界は、みんなが認めるルールを基にして、違いがではない状態です。生活、文化、宗教などが違う国々が集う国連で国民の疑問には答えず、多数の議席を背景に採決が続く、普通日本では、安保法制をはじめTPPにせよ、法案の内容が説明不足もい答えを探っていく過程が民主主義の根本にあります。今の意見を持つ人たちが話し合い、相手の意見を取り入れながら、最多数決は、民主主義の決定プロセスのひとつですが、すべてはしかし、そうでしょうか？

れませんか。

民主主義とは多数決で決めること、と思っている人は多いかもしれ

A.多数決の前に、議論が必要です。

Q.多数決で物事を決めてしまっているの？

Q&Aで、知りたい！

わたしの将来、大丈夫なの？

私たちの命を、生活を、自由を、権利を大切にする社会を、安心して暮らせる平和な社会を子ども達にバトンしたい、と思っています。そんな社会を実現するために、私たちにできることをがんばります。

冊子の裏面には、私たちとつながりのある団体を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

文責：みんなの自由が丘だいいこうしん 2016.12

2015年9月19日、安保法制が衆議院で強行採決されました。これにより、自衛隊は外国で武力を用いて戦闘行為を行えるようになります。自衛隊は戦場に行くので、死者が出るかもしれません。今までも、国際平和協力として道路整備などを行っていた南スーダンは、内戦状態になっていて他国の軍隊も引き揚げるほど危険なのに、派遣は延長されます。

憲法9条があるので、戦争行為をできなかった自衛隊が、今度は武器を持ち「相手を殺し、自分が殺される」戦場に身を置くことになります。派遣される自衛隊員が家族の気持ちを思うと胸が引き裂かれそうです。

武力で平和は作れません。憎しみの連鎖によって日本でテロが起きる日も、そう遠くはないかもしれません。

A.残念ですが、本当です。

Q.日本が戦争に参加できるって本当？

＜みんなの自由が丘だいいこうしん＞
<http://rainbow0605.blog.fc2.com>

民主主義は、私たち国民ひとりひとりが参加することで成り立つ制度です。何かおかしいな、とか、これは違うんじゃないかな、と思ったら、自分で調べて、考えて、行動してみましょう。選挙で投票することはもちろん、インターネットで正しい情報を集めること、勉強会に参加すること、デモに参加すること、それらすべては私たちに認められた権利です。

今、テレビを始め大手メディアでは、この国の現状を知ることが難しくなっています。TPPの強行採決も、国会中継はされませんでした。批判をすることは、是正を求めることです。自分たちが生きていく世の中を良くするために声をあげることが、悪いことではありません。

気になることがあれば、できることから始めてみましょう。

出典：毎月勤労統計調査 平成27年分経果速報 | 厚生労働省
 出典：毎月勤労統計調査 平成27年分経果速報 | 金融広報中央委員会 (2015)

現在も、大企業だけが富み、労働者の賃金は下がり、格差は広がります。大企業が富み、中小企業、国民と順番に潤う狙いでしたが、今込み、日本の景気は低迷しています。

上)が30.9%となっています。消費税が8%になって、消費は冷え込み、日本の景気は低迷しています。

アベノミクスで、皆さんの暮らしは良くなりましたか？給料は上がらず、実質賃金は2013年から4.6%も減少、貯金ゼロ世帯（2人以上）が30.9%となっています。消費税が8%になって、消費は冷え込み、日本の景気は低迷しています。

さらには、株式市場を支えるために、私たちの大切な年金まで、ハイリスクな投資に勝手に回されています。多国籍企業や大企業ばかりが優遇される経済政策から、私たち国民に利益が再分配される政策への転換が必要です。

A.ボロボロです。

Q.経済は本当に良くなっているの？

Q.わたしたちは何をすればいいの？

A.考えて、できることをやる。

例えばTPPIは、本来は憲法よりも下位のはずです。しかし、ISDS条項などによって実質的に憲法や国の主権を超えて、多国籍企業や投資家の利益を守るために機能する恐れが強いものなのです。これは、日本の農林水産業などや医療、私たちの「食の安全や人権、最低限の生活」の保障は一切されなくなる、国のあり方で変わってしまう重要な問題です。また、沖縄の基地問題では選挙で何度も「反対」の民意が示されているにも関わらず無視されたり、国民の約7割（2015年）が原発再稼働に反対しているのに、老朽化した原発が未だに再稼働されようとしています

私たち多くの国民の声が届かないということは、すでに全体主義が始まっているのかもしれませんが。その上、憲法改悪によって個人の権利が制限されたら、一体どうなるのでしょうか。

出典：平成27年版 子ども・若者白書（全体版）| 内閣府
 『下流老人 一億総後援の衝撃（朝日新聞）』藤田孝典（著）

今の日本は、子どもの貧困が6人に1人、お年寄りにおいては「下流老人」という言葉が流行るほど貧困に直面しています。

『下流老人』の著者 藤田氏は「年収が1000万あっても下流老人になる可能性は高く、経済や社会保障のあり方が変わらなないと格差は広がり貧困率は上がるばかり」と言います。

保育園は不足、就職しても奨学金の返済、残業増えでも賃金上がりず、年金も減額だしたら、一体いつ幸せになれるのでしょうか。子育て・福祉に税金を使うことは未来への投資であり、他者に優しい社会はみんなが幸せになれる社会です。

A.このままでは、将来が不安です。

Q.子どもやお年寄りは安心して暮らせるの？

Q.日本はどこに向かってるの？

A.個人の権利よりも国家が優先される、全体主義が始まっています。

出典：ロイター (2015年)

私たちの力で、この国を変えましょう。

※今、ひとりひとりが動き始め、つながり始めています。興味のある方は、お近くの団体までお気軽にご連絡ください。



安全保障関連法の廃止を求める
早稲田大学有志の会



早稲田大学の教職員・卒業生・学生
約3,800名の賛同者による有志の会
です。合言葉はDemocracy Strikes
Back! (民主主義の逆襲)



PEOPLE'S ACTION
FOR PEACE, INDIVIDUAL DIGNITY
& DEMOCRACY

平和・個人の尊厳・民主主義の
ための市民アクション

パピド

2016年8月25日、現政権下での改憲に疑問を持ち結成
されました。平和・個人の尊厳・民主主義のための
具体的なアクションを企画、実行しています。

*

私たちはまだひよこ。
学びながらアピールの方法をあれこれ模索しています。

●公式ツイッター：@papido2016



●Papido Facebook ページ
(QRコードから飛ばない時はPapidoで検索ください)



肉球新党 猫の生活が第一



2015年夏、安保法制反対運動の中で「安倍ニモマケズ」
が評判を集め、その中で生まれた猫と人の集まりが「肉
球新党」です。「猫が幸せに暮らせる社会は、人にも優
しい」の考え方のもとで、戦争反対、反原発、動物の権
利を守る活動を展開しています。



パパママぼくの脱原発ウォーク in 武蔵野・三鷹



子ども達の命と未来を守りたいパパママ
です。吉祥寺を中心に誰でも楽しく参加
できるパパママウォークをこれまで12回
開催。



国会前 希望のエリア



毎週金曜に行われている国会前抗議行動。
「命を守ろう!」を合言葉に、気持ちは
強く言葉は優しく声をあげている。パ
ママぼくの脱原発ウォーク主催。



戦争法をなくしたい! オール市民の会



『戦争法をなくしたい! オール市民の会』
は三鷹・武蔵野地域から「戦争法廃止の
一点」のみで、集まった個人・団体です。



戦争はごめんだ、いのちを守る オールめぐろの会



目黒にゆかりのある人たちが、「安倍退陣」「戦
争法廃止」「脱原発」「沖縄に基地はいらない」
に向け、つながり始めています。今こそ、現在の憲
法が生きる社会の実現目指して、一緒にできるこ
ろから取り組みましょう!



市民連合 めぐろ・せたがや



腐敗と暴走のアベ政治を止めるため市民
と野党が共同で衆議院候補一本化で結集。
来るべき総選挙に向けて、さらに結束を
深めネットワークを拡げていきます。

